



決勝レース 1 レポート

2010/11/13 JAF グランプリ 富士スプリントカップ

天候：曇り 気温：18℃ 出走台数：15 台

僅か 100km のスプリントレース、まさにフォーミュラレースの魅力が凝縮された JAF グランプリ 富士スプリントカップは、決勝レース 1 を迎えた。

予選でのトラブルから、デュバル選手は 12 番グリッド、伊沢選手は 11 番グリッドからのスタートとなる。

スターティンググリッドで他車の戦略を読んだチームは、デュバル選手のウィングバランスを再調整、コーナースピードとストレートスピードのバランスを変更した。

スタートは 2 台揃って非常によく、2 台ずつオーバーテイク。さらにヘアピンカーブで 1 台を抜こうとしたデュバル選手であったが、前走者のブレーキングが早すぎ、それを避けるためにコースアウト、最後尾となってしまった、しかしグリッドでのセットアップ変更が功を奏したか、ペースの速いデュバル選手は即座に追いつき、ダンロップコーナーで数台をパスした瞬間、後続に追突されてスピン、リアセクションが壊れリタイヤとなってしまった。

伊沢選手は 9 位でオープニングラップを周回、3 周目にはストレートで 1 台をパスし 8 位へ。トップ 2 と同じ 26 秒台のラップタイムで 5 位争いグループ 3 台のバトルを繰り広げる。コーナーで速い伊沢選手は前走者を執拗に追い詰めるも、メインストレートで抜くには至らない。それでも何とか 1 台をパスし 7 位に浮上し、6 位を目指してプッシュするが、残り周回数も少なくそのまま 7 位フィニッシュでレース 1 を終えた。

1: ロイックデュバル選手 レース 1 リタイヤ

非常に良い感触の予選セットアップから、さらに高速寄りにセットアップを変更してレースに臨んだ。スタートは良くて、ペースも周囲の車両では飛びぬけて良かったよ。そのせいもあってダンロップコーナーで数台をパスしようとしたんだけど、リアに他車が接触してしまいスピン、車両が壊れてリタイヤになってしまいました。

昨日・今日と、ファンの皆様に私の走りをお見せできなくて残念です。明日のスプリントレースこそは、毎週予選モードで完全燃焼しかありませんね。

2: 伊沢拓也 選手 レース 1 7 位

スタートも良く、ラップタイムも安定していましたが、単独でのストレートスピードが伸びず、5 位まで行きたかったのですがパスするのに時間がかかりました。明日は 4 番グリッドからのスタート。今日のデータをもとに、チームと明日の戦略を立て、2010 シーズン最後の 22 周を悔いのないよう攻め抜き、表彰台で終えたいです。